

JA西三河青年部、西尾市へ1万円寄贈 農業まつりの収益金、地域振興に役立てて

JA西三河青年部（沢部敏克部長）は12月14日、西尾市へ1万円を寄贈します。10月に開かれた「JA西三河農業まつり」のイベントで物品販売を行った売上金の一部で、青年部から西尾市への売上金の寄贈は今年度が初。

青年部はこの寄付金を西尾市の地域振興に役立ててほしい考え。また次年度以降も、十分な売り上げが上がった場合には同様の寄付を継続の予定です。

【日時】

日時：12月14日（金）午後3時～
場所：西尾市役所 3階 市長室

【参加者】

JA西三河青年部	部長	沢部敏克
JA西三河青年部	副部長	杉浦一成
愛知県農協青年組織協議会	委員長	半田孝則
ほか青年部役員・JA西三河事務局など		



部員の畑でトウモロコシ苗の定植管理作業
（2018年5月）

■地産地消の魅力、イベントで発信

青年部栽培のポップコーンを販売

JA西三河青年部は、部員の管理する畑での爆裂種トウモロコシを栽培しています。毎年10月にJA西三河が開催する「JA西三河農業まつり」で、「西尾市産ポップコーン」と題して販売し、地産地消の魅力を地域に届けることを目的としています。

2016年度より開始。栽培経験の不足から初年度は販売に至りませんでした。次年度には良質のトウモロコシを収穫でき、農業まつりでの販売を開始。3年目となる今年度は、新品種の栽培や鶏ふん・豚ふんの施用など土づくりにもこだわり、9月には約80^{kg}のトウモロコシを収穫しました。

このトウモロコシを使用したポップコーンは、10月13日・14日に開催された「農業まつり2018」で販売。ポップコーン販売のほか、部員が製造する加工品や綿菓子販売、風船釣りなどを開催し、農業まつりを訪れた子供に好評を博しました。

（JA西三河青年部の概要については、別紙資料をご覧ください）



農業まつりでポップコーンを販売
（2017年10月）



JA西三河青年部の概要

～地域・作物を越えた青年農家のつながりづくり～

■JA西三河青年部とは

JA西三河青年部は、西尾市内の若手農業者（25歳から45歳まで）63人（H29.12現在）で組織しています。メンバーの育てる作物は施設野菜・茶・水稻・鉢物・切花から畜産まで多岐にわたります。

栽培品目や地域を越えて若手農業者同士のつながりを作り、情報共有と自己研鑽を通して自らの農業経営を高めるとともに、地域農業の振興を推し進めることを目的としています。

■主な活動内容

- ・通常総会
- ・他地域青年部への研修会・視察
- ・農業まつりなど地域イベントへの参加
- ・県青協活動への参加
- ・研修会・講演会の開催
- ・交流イベントの開催
- ・JA役職員との意見交換会

■最近力を入れている活動



◆農業PR街コンの開催（2017年11月）
青年部員17人と、県内各地より応募した女性14人が参加。梨収穫体験などを通して交流した



JAグループ愛知



◆青年部×松井家トークライブ（2018年2月）
約1年間の世界一周旅行を経験した松井友和氏・加奈氏夫妻を講師とした講演会。



◆農業PR立て看板制作（毎年）
県青協による立て看板コンクールでは上位入賞の常連



◆JA役職員との意見交換会（毎年2月頃）
日頃の営農の中で感じることなどをJA役職員に投げかけ、活発な議論と意見交換が行われます。